

一般社団法人 京都大学学士山岳会 事業報告・決算ならびに事業計画・予算

2021年5月22日(土)、京都大学よりZoom形式で2021年度の総会が会員104名の出席(うちZoom参加28名、委任状出席76名、会員数196名)を得て開催されました。2020年度事業報告および収支決算、2021年度事業計画および収支予算、新役員などにつきましては、その席上で承認いただきましたが、ここに改めて会員各位にお知らせいたします。

1 2020年度事業報告

I 山岳および登山に関する学術調査および研究について(定款第2章第4条第1項)

1. 1979年に設立されたヒマラヤ委員会を適宜開催し、海外高峰への学術登山隊派遣について検討を重ねた。
2. カラコラム、ネパール、中国、ブータン、ヒンズークシおよび南極地域における登山ならびに学術探検に関する研究を継続した。
3. 1973年4月に本会内に設立された旧国際登山探検文献センターで収集された登山探検資料を京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科に寄贈し、文献資料目録を編纂するとともに引き続き資料の充実と収集資料の整理を行った。
4. 会設立から現在まで本会会員が主催または参加した海外遠征の写真、映像資料を集めるAACKアーカイブス事業委員会(委員長:会員松林公蔵)を設けて、資料の整理にあたった。
5. 雲南・チベット地域の総合的研究を目的に2004年に設立された雲南懇話会(代表:会員安仁屋政武)の運営に協力した。
6. 「ヒマラヤという第3の極地」を対象にしたユニークな教育研究組織として2016年に設立された京都大学ヒマラヤ研究ユニット(ユニット副代表:会員幸島司郎、ユニット事務局長:会員坂本龍太)の運営に協力した。
7. 第40回日本登山医学会学術集会の運営に本会会員が協力した。

II 一般社会に対する健全な登山の指導奨励ならびにこれに必要な研究会、講習会および展覧会等の開催について(同第2項)

1. 公益社団法人日本山岳会評議員として会員中山茂樹が、同関西支部評議員として会員平井一正、田中昌二郎が同会の運営に協力し、国内外の登山探検の振興に努めた。
2. UIAA(国際山岳連合)の医学委員として会員中島道郎、松林公蔵らが同会の運営にあたった。

Ⅲ 国内、国外における登山および探検に対する企画および協力について(同第3項)

1. NHKBS 放送「グレートヒマラヤトレイル」の制作に会員上田豊らが協力した。
2. 滋賀県東近江市立博物館・科学館西堀榮三郎記念探検の殿堂が2022年から2023年に開催を計画している今西錦司・西堀榮三郎生誕120年記念特別展の調査に会員上田豊、山岸久雄らが協力した。
3. 梅棹忠夫生誕100年記念事業(代表:会員幸島司郎)の開催に、会員幸島司郎、榊原雅晴、竹田晋也、上田豊、酒井敏明、田中二郎、谷泰らが協力した。

Ⅳ 山岳登山に関する図書、機関誌などの発行について(同第4項)

1. 『2019年度事業報告および収支決算書・2020年度事業計画および収支予算書』を作成し、公開した。
2. 『AACK Newsletter No. 93~No. 96』の編集・発行を行い、会員相互の情報交換を図った。
3. 京都大学ヒマラヤ研究会、京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院ならびに京都大学ヒマラヤ研究ユニットが発行する『ヒマラヤ学誌 第21号』の編集に協力した。
4. 『AACK 時報 第15号』の編集作業をすすめた。
5. 本会の公式ウェブサイト(www.aack.info)を運営し、本会の歴史や事業活動および社会的貢献について広く情報公開するとともに、会員および会員外の情報交換の場を提供した。
6. 2011年5月の本会総会で設置が決定されたアーカイブス委員会を中心に資料収集とその整理・デジタル化を進め、本会の公式ウェブサイト(www.aack.info)内で立ち上げた「AACKの活動アーカイブス」の充実に努めた。

Ⅴ 目的を同じくする国内および国外の団体との連絡ならびに情報の交換について(同第5項)

現地国での登山・学術調査を契機として始まった国外の関係機関との交流をさらに深めた。

2020年度財務諸表

I 2020年度収支決算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 一般会計

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
大科目	小科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1)基本財産運用収入		100	30	70	
	基本財産受取利息	100	30	70	預金利息
(2)入会金収入		1,500	0	1,500	
	受取入会金	1,500	0	1,500	なし
(3)会費収入		911,000	821,638	89,362	
	受取会費	911,000	821,638	89,362	167名分(うち学生会員7名分)
(4)事業収入		100	151	△ 51	
	受取寄付金	0	0	0	
	雑収益	100	151	△ 51	預金利息
(5)著作権収入		310,000	319,985	△ 9,985	
	受取著作権	310,000	319,985	△ 9,985	雪山讃歌
(6)特別会計からの繰入金収入		0	0	0	
	特別会計から	0	0	0	
事業活動収入計		1,222,700	1,141,804	80,896	
2. 事業活動支出					
(1)事業費支出		1,030,000	687,885	342,115	
I	旅費交通費	0	2,920	△ 2,920	講演者旅費
I	資料費	0	0	0	書籍
II	装備費	0	0	0	登山装備
III	支払調査助成金	0	0	0	海外登山探検
IV	通信費	90,000	84,353	5,647	Newsletter93-96発送
IV	情報通信費	50,000	5,368	44,632	ホームページ
IV	印刷製本費	820,000	528,660	291,340	Newsletter 93-96, ヒマラヤ学誌(未刊)
IV	編集費	20,000	20,584	△ 584	Newsletter編集
V	集会・渉外費	50,000	46,000	4,000	京都府岳連会費
(2)管理費支出		260,000	280,684	△ 20,684	
	旅費交通費	80,000	38,320	41,680	3月理事会交通費
	通信費	50,000	64,274	△ 14,274	事業報告計画書(議案書)等発送
	備品費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	修繕費	0	0	0	
	印刷製本費	60,000	72,270	△ 12,270	事業報告計画書(議案書)等
	賃借料	0	0	0	
	会議費	20,000	0	20,000	5月理事会総会, 3月理事会(リモート)
	委託費	40,000	39,600	400	名簿管理
	雑費	10,000	66,220	△ 56,220	供花2家
(3)特別会計への繰入金支出		0	0	0	
	特別会計へ	0	0	0	
事業活動支出計		1,290,000	968,569	321,431	
事業活動収支差額		△ 67,300	173,235	△ 240,535	
II 予備費支出					
当期収支差額		△ 67,300	173,235	△ 240,535	当期黒字額
前期繰越収支差額		295,000	295,290	△ 290	
次期繰越収支差額		227,700	468,525	△ 240,825	

2. 特別会計(遠征基金)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
大科目	小科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1)事業収入	5,000	4	4,996		
	受取寄付金	0	0		
	雑収益	5,000	4	4,996	預金利息
(2)一般会計からの繰入金収入	0	0	0		
	一般会計から	0	0		
	事業活動収入計	5,000	4	4,996	
2. 事業活動支出					
(1)事業費支出	100,000	0	100,000		
	Ⅲ 旅費交通費	0	0	0	
	Ⅲ 通信費	0	0	0	
	Ⅲ 消耗品費	0	0	0	
	Ⅲ 支払調査助成金	100,000	0	100,000	なし
	Ⅲ 委託費	0	0	0	
	Ⅲ 雑費	0	0	0	
	V 集会・渉外費	0	0	0	
(2)一般会計への繰入金支出	0	0	0		
	一般会計へ	0	0	0	
	事業活動支出計	100,000	0	100,000	
	事業活動収支差額	△ 95,000	4	△ 95,004	
	当期収支差額	△ 95,000	4	△ 95,004	
	前期繰越収支差額	2,336,000	2,336,615	△ 615	
	次期繰越収支差額	2,241,000	2,336,619	△ 95,619	

一般会計へ

II 貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
[1]資産の部	
1.流動資産	
現金	0
振替預金	347,438
普通預金	657,706
定期預金	1,500,000
流動資産合計	2,505,144
2.固定資産	
基本財産	
定期預金	300,000
固定資産合計	300,000
資産合計	2,805,144
[2]負債の部	
未払金等=負債合計	0
[3]正味財産の部	
正味財産	2,805,144
(当期収支差額)	173,239
負債及び正味財産合計	2,805,144

II' 財産目録

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
1. 運用財産	
現金	0
振替預金(ゆうちょ)(一般)	347,438
普通預金(みずほ)(一般)	121,087
普通預金(三菱UFJ)(特別)	536,619
定期預金(みずほ)(特別)	1,500,000
運用財産合計	2,505,144
2. 基本財産	
定期預金(みずほ)(特別)	300,000
基本財産合計	300,000
3. 負債	
未払金等	0
負債合計	0
財産(正味財産)合計	2,805,144

I' 2020年度正味財産増減計算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科 目		当 年 度			前年度	増 減
大科目	小科目	一般会計	特別会計	合 計	合 計	
一般正味財産増減の部						
I 経常増減の部						
1. 経常収益						
(1)基本財産運用収入		30	0	30	30	0
	基本財産受取利息	30	0	30	30	0
(2)入会金収入		0	0	0	2,500	△ 2,500
	受取入会金	0	0	0	2,500	△ 2,500
(3)会費収入		821,638	0	821,638	885,723	△ 64,085
	受取会費	821,638	0	821,638	885,723	△ 64,085
(4)事業収入		151	4	155	155	0
	受取寄付金	0	0	0	0	0
	雑収益	151	4	155	155	0
(5)著作権収入		319,985	0	319,985	306,330	13,655
	受取著作権	319,985	0	319,985	306,330	13,655
(6)会計間の繰入金収入		0	0	0	0	0
	一般・特別会計	0	0	0	0	0
	経常収益計	1,141,804	4	1,141,808	1,194,738	△ 52,930
2. 経常費用						
(1)事業費支出		687,885	0	687,885	695,477	△ 7,592
I	旅費交通費	2,920	0	2,920	0	2,920
I	資料費	0	0	0	0	0
II	装備費	0	0	0	0	0
III	支払調査助成金	0	0	0	130,875	△ 130,875
IV	通信費	84,353	0	84,353	86,440	△ 2,087
IV	情報通信費	5,368	0	5,368	0	5,368
IV	印刷製本費	528,660	0	528,660	408,162	120,498
IV	編集費	20,584	0	20,584	20,000	584
V	集会・渉外費	46,000	0	46,000	50,000	△ 4,000
(2)管理費支出		280,684	0	280,684	491,215	△ 210,531
	旅費交通費	38,320	0	38,320	79,120	△ 40,800
	通信費	64,274	0	64,274	48,368	15,906
	備品費	0	0	0	0	0
	消耗品費	0	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0	0
	印刷製本費	72,270	0	72,270	121,694	△ 49,424
	賃借料	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	18,236	△ 18,236
	委託費	39,600	0	39,600	147,181	△ 107,581
	雑費	66,220	0	66,220	76,616	△ 10,396
(3)会計間の繰入金支出		0	0	0	0	0
	一般・特別会計	0	0	0	0	0
	経常費用計	968,569	0	968,569	1,186,692	△ 218,123
	当期経常増減額	173,235	4	173,239	8,046	165,193
II 経常外増減の部						
	当期一般正味財産増減額	173,235	4	173,239	8,046	165,193
	一般正味財産期首残高	295,290	2,336,615	2,631,905	2,623,859	8,046
	一般正味財産期末残高	468,525	2,336,619	2,805,144	2,631,905	173,239

2 2021 年度事業計画

I 山岳および登山に関する学術調査および研究(定款第 2 章第 4 条第 1 項)

1. ヒマラヤ, カラコラム, チベット, 崑崙地域等における登山ならびに学術探検の文献の収集ならびに研究

- (1) ヒマラヤ等上記の地域の登山ならびに地質学, 気象学, 氷河学, 動物学, 植物学, 人類学, 医学などの学術探検に関する文献資料を収集し, それぞれの分野に関して研究を行う.
- (2) 過去数十年にわたる本会の海外遠征および学術調査によって蓄積された学術資料ならびに国内外から収集した学術資料を京都大学総合博物館ならびに京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科に 2000 年に寄贈した. 引き続きその資料充実と収集資料の整理に協力する.
- (3) 本会会員が主催または参加した海外遠征の写真, 映像資料等を集める AACK アーカイブス事業を担う委員会を設けて, 資料の整理を進める.
- (4) 雲南・チベット地域の総合的研究を目的に 2004 年に設立された雲南懇話会の運営に協力する.
- (5) 「ヒマラヤという第 3 の極地」を対象にしたユニークな教育研究組織として 2016 年に設立された京都大学ヒマラヤ研究ユニットの運営に協力する.
- (6) 第 41 回日本登山医学会学術集会の運営に本会会員が協力する.

2. 高所登山に関する調査研究

本会が主催した海外遠征によって得た資料を基に, 引き続き, (1)高所医学, (2)高所気象学, 氷河学, (3)高所用装備, (4)高所用食糧, (5)高所山岳遭難の防止など, 高所登山に関する調査研究を行う.

II 一般社会に対する健全な登山の指導奨励ならびにこれに必要な研究会, 講習会および展覧会等の開催(同第 2 項)

1. 登山講習会の開催と講師の派遣

健全な登山を奨励するため下記により登山講習会を行う.

(1) 登山講習会(京都大学山岳部と共催)

2021 年度に, 新潟県妙高市京都大学笹ヶ峰ヒュッテにて, 一般登山者に対して, 本会会員を指導者として登山技術, 遭難防止, 自然愛護を目的とした講習会を開催する.

(2) 他団体主催講習会への講師の派遣

独立行政法人日本スポーツ振興センターが主催する登山技術講習会、公益社団法人日本山岳会が主催する海外登山研究会ならびに UIAA(国際山岳連合)の高所医学研究会に会員を講師として派遣する。

2. 研究会および展覧会等の開催

2021年に本会は創立90周年を迎える。それを記念し、京都大学の登山、探検やフィールドワークの歴史を振り返り、未来を考える催しを企画開催する。

Ⅲ 国内・国外における登山および探検に対する企画および協力(同第3項)

(1) 国内山岳会の海外登山隊への資料提供と協力

国内の山岳会が主催する海外登山隊および学術調査隊に資料を提供し、十分な協力をを行う。

(2) 中国、ブータン、インド、ネパール、パキスタン、アフガニスタン国内の登山および学術調査

各国の登山協会、山岳会、関係諸団体と連絡をとり、調査を行う。

(3) 遠征基金の運用および管理

1975年度に本会に設立された京都大学学士山岳会遠征基金を遠征基金運用規程に基づき運用・管理する。

(4) 海外登山・探検助成制度の運用

2005年度に設立した海外登山・探検助成制度を運用し、本会会員が主催する海外登山・探検に対して助成金を交付する。

Ⅳ 山岳登山に関する図書・機関誌などの発行(同第4項)

(1) 『事業報告・事業計画』を作成し、公開する。

(2) 『AACK 時報』の編集を行う。

(3) 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院ならびに京都大学ヒマラヤ研究ユニットが発行する『ヒマラヤ学誌』の編集・発行に協力する。

- (4) 『AACK Newsletter』を年 4 回編集・発行し、全会員に配布して会員相互の情報交換を図る。
- (5) 本会の公式ウェブサイト(www.aack.info)を運営し、本会の歴史と活動、会員の動向や山行計画と報告などについて広く社会に情報公開し、会員および会員外の情報交換の場とする。また、本会の公式ウェブサイト内で立ち上げた「AACKの活動アーカイブス」のさらなる充実に努める。

V 目的を同じくする国内および国外の団体との連絡ならびに情報の交換(同第5項)

中国、ブータン、インド、ネパール、パキスタン、アフガニスタン等の関係機関との交流を深め、また、欧米の山岳会との情報交換に努めて、これら各国登山関係者との親善に貢献する。

3 役員改選

新役員（任期 2021年5月総会から2023年5月総会まで）

理事 幸島 司郎（会長）	山岸 久雄（副会長）	榑原 雅晴（副会長）
松林 公蔵（特任副会長）	横山宏太郎	牛田 一成
永田 龍（常務・事務局）	高尾 文雄	竹田 晋也
木村 泰久（常務）	田中 貴（常務）	以上 11名
特任理事（会長指名・2023年5月総会まで）	小林 尚礼	以上 1名

（監事は4年任期のため、現監事の任期は2019年5月総会から2023年5月総会まで）

監事 福森 亮二	伊藤 宏範	以上 2名
----------	-------	-------

4 新入会員

3名

以上が、昨年度の事業報告ならびに本年度の事業計画その他です。

総会後に酒井敏明会員、岩坪五郎会員により、本会設立90周年事業のひとつとして、「ノシヤック峰初登頂60周年記念講演会」が開催されました。詳しくは「リンク先」をご覧ください。
そのあと、笹ヶ峰会総会、京都大学山岳部報告会も開かれました。

来年度の総会・懇親会は、2022年5月28日（土）、京都大学楽友会館で開く予定にしております。

一般社団法人 京都大学学士山岳会
会 長 幸 島 司 郎

Ⅲ 2021年度収支予算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 一般会計(特別会計吸収)

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	小科目			
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1)基本財産運用収入	100	100	0	
	基本財産受取利息	100	100	定期預金利息
(2)入会金収入	3,000	1,500	1,500	
	受取入会金	3,000	1,500	6名分(学生)
(3)会費収入	887,500	911,000	△ 23,500	
	受取会費	887,500	911,000	会員200名分(うち学生25名分)
(4)事業収入	100	100	0	
	受取寄付金	0	0	
	雑収益	100	100	預金利息
(5)著作権収入	310,000	310,000	0	
	受取著作権	310,000	310,000	雪山讃歌
(6)特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
	特別会計から	0	0	特別会計から一般会計へ
事業活動収入計		1,200,700	1,222,700	△ 22,000
2. 事業活動支出				
(1)事業費支出	1,010,000	1,030,000	△ 20,000	
I	旅費交通費	0	0	講演者旅費
I	資料費	0	0	書籍
II	装備費	0	0	登山装備
III	支払調査助成金	200,000	0	200,000 海外登山探検, 雲南懇話会
IV	通信費	90,000	90,000	0 Newsletter, ヒマラヤ学誌(なし)発送
IV	情報通信費	50,000	50,000	0 ホームページ
IV	印刷製本費	600,000	820,000	△ 220,000 Newsletter97-100, ヒマラヤ学誌(なし)
IV	編集費	20,000	20,000	0 Newsletter編集
V	集会・渉外費	50,000	50,000	0 京都府岳連会費
(2)管理費支出	380,000	260,000	120,000	
	旅費交通費	30,000	80,000	△ 50,000 3月理事会交通費
	通信費	50,000	50,000	0 事業報告計画書(議案), 会員名簿等発送
	備品費	0	0	0
	消耗品費	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	印刷製本費	120,000	60,000	60,000 事業報告計画書(議案), 会員名簿等印刷
	賃借料	0	0	0
	会議費	20,000	20,000	0 5月総会理事会, 3月理事会(リモート)
	委託費	100,000	40,000	60,000 名簿管理, 役員登記
	雑費	60,000	10,000	50,000 慶弔費等
(3)特別会計への繰入金支出	0	0	0	
	特別会計へ	0	0	0
事業活動支出計		1,390,000	1,290,000	100,000
事業活動収支差額		△ 189,300	△ 67,300	△ 122,000
II 予備費支出				
当期収支差額		△ 189,300	△ 67,300	△ 122,000
前期繰越収支差額		2,800,000	295,000	2,505,000 特別会計から
次期繰越収支差額		2,610,700	227,700	2,383,000 特別会計から

2. 特別会計(遠征基金)(一般会計へ)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大科目	小科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1)事業収入		0	5,000	△ 5,000	
	受取寄付金	0	0	0	
	雑収益	0	5,000	△ 5,000	書籍売却、預金利息
(2)一般会計からの繰入金収入		0	0	0	
	一般会計から	0	0	0	
事業活動収入計		0	5,000	△ 5,000	
2. 事業活動支出					
(1)事業費		0	100,000	△ 100,000	
Ⅲ	旅費交通費	0	0	0	
Ⅲ	通信費	0	0	0	
Ⅲ	消耗品費	0	0	0	
Ⅲ	支払調査助成金	0	100,000	△ 100,000	海外登山関係
Ⅲ	委託費	0	0	0	
Ⅲ	雑費	0	0	0	
V	集会・渉外費	0	0	0	海外山岳会関係
(2)一般会計への繰入金支出		0	0	0	
	一般会計へ	0	0	0	特別会計から一般会計へ
事業活動支出計		0	100,000	△ 100,000	
事業活動収支差額		0	△ 95,000	95,000	
当期収支差額		0	△ 95,000	95,000	
前期繰越収支差額		0	2,336,000	△ 2,336,000	一般会計へ
次期繰越収支差額		0	2,241,000	△ 2,241,000	一般会計へ